



第31号

平成24年11月5日発行

発行/宇 佐 市 議 会 直通:0978-32-2328 Fax:0978-32-1437

小学校紹介シリーズ



横山太鼓~横山の響き(宇佐市子連芸能文化祭にて)

宇佐市立横川小学校 (児童数 34 名)

横山小学校は、「夢に向かって自分を磨き、やる 気・元気・根気でたくましく生きぬく子」をめざし てさまざまな人とつながりながら学び合っています。 特に、毎年の横山太鼓やよさこい踊りは桜花鬼神太 鼓の皆さんの熱心な指導を受けて練習を積み上げ、 成長した先輩の晴れ姿は次を受け継ぐ後輩の夢へと つながっています。

太鼓も踊りも子ども会を中心とする保護者が全面 的バックアップをしており、その功績が認められて 本年度大分県教育奨励賞をいただきました。夏越祭 りや七夕祭り、運動会、芸能文化祭など多くの発表 の場が、子どもたちの心に感謝と確かな自信を育ん でいます。



子ども神楽

宇佐市立長峰小学校 (児童数 55 名)

横光利一の「旅愁」に描かれ、光岡城・佐野城と 二つの中世の城跡を校区に持つ長峰小学校は、明治 5年に笠松小学校として創立され、今年で141年 目を迎える伝統ある学校です。地域の特性や小規 模・少人数の長所を活かしながら「ふるさと長峰を 愛する子ども」の育成を目指して、保護者・地域・ 学校が一体となって教育活動をすすめています。

特に、モチ米作りの収穫に感謝して、次の豊作を 祈願する「子ども神楽」は三十年近く続いている取 り組みとなっています。今年も、4年生以上の全児 童の参加のもとに行われます。写真は、1月に行わ れた新春子ども大会での子ども神楽の様子です。

8月臨時会

・平成24年度一般会計補正予算(第2号)を可決

9月定例会

・平成24年度一般会計の補正予算案(第3号)を可決

	・定例会の主な内容	
目	·議決結果一覧 ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · P.3~4
次	·一般質問 ··	
>	・市民の声、編集後記	

般会計補正予算(第2号)案を可決

(会期一日)

予算(第2号)5億8440万円 り組むために宇佐市一般会計補正 る被災地域の1日も早い復旧に取 7月初旬・中旬と続いた大雨によ 原案のとおり可決しました。 締結についての3議案が提案され 特殊消防ポンプ車を購入する契約 の増額及び救助工作車、災害対応 8月臨時会を8月9日に開催

平成24年9月定例会を9月

案4件を可決しました。 採択。また継続審査の請願1 ました請願2件のうち1件を り可決・認定・同意しました。 案を除きすべてを原案のとお 含め30件で、議第92号から 件を不採択。そのほか意見書 100号までの決算認定り議 また、今定例会に提出され 上程された議案は追加 を

(5億2,570万円の増額補正)

【本会議第5日】(9/ 14

後、上程された議案に対し質疑を行 ◇一般質問及び議案質疑 市政一般に対する質問を行った

いました。主なものは次のとおりで

Q. 宇佐市一般会計補正予算 いて伺う。 による進出企業とその契約内容につ 号)の尾永井工業団地用地取得事業 (第 3

間の会期で開催しました。

4日から9月24日までの21日

る。売電期間20年間のトータルで ら年間賃貸料は約920万円とな 36,837㎡を貸し付けることか 内容は20年間平米単価250円で ませんが京セラ株式会社との契約 ネル等の構築物等の撤去期間中にも は約1億8,400万円になる。ま た、工事期間中と20年後の太陽光パ 現時点での確定内容ではあり

【本会議第1日】(9/4)

◇議案の上程及び説明

理由の説明がありました。 報告6件が上程され、市長から提案 3号)案のほか、条例案など20件と 平成24年度一般会計補正予算 **(第**

撤去し用地が更地でもどる。

れ20年後には企業負担で構築物等を 4,700万円程度の収入が見込ま その他にも償却資産税が20年間で約 約1億9,200万円が見込まれる。 賃貸料約800万円があり全体

〔本会議第2~4日〕

11 5 13

◇追加議案の上程 (9件)

平成23年度一般会計・特別会計の

【本会議第6日】

9 24

◇一般質問

市政一般に対する質問を行いまし

◇特別委員会の設置

歳入歳出決算認定案が上程されまし

れました。(委員はP12に掲載) 査を行う、決算特別委員会が設置さ 一般会計歳入歳出決算認定案の

質疑・討論・採決 ◇各常任委員会の審査報告の後、

択しました。また、継続審査の請願 のとおり可決・認定。請願1件を採 採決を行いました。議案20件を原案 1件を不採択しました。 査報告があり、その審査結果を基に 各常任委員長から議案・請願の

◇追加議案・意見書案の上程

見書案4件を可決しました。 提案され、同意しました。また、 人権擁護委員の選任案1件が追加 意

人権擁護委員の推薦に同意》

茂 (大 (大 (安心院町矢崎

平成24年9月 第4回定例会 議決結果一覧表

○議 案

番号	件名	付託委員会	議決月日	結 果			
議第72号	平成24年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	各常任委員会	9月24日	原案可決			
議第73号	平成24年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	//	"			
議第74号	平成24年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	//	//			
議第75号	平成24年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	建設環境	"	"			
議第76号	平成24年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	建設環境	//	"			
議第77号	平成24年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建設環境	//	//			
議第78号	平成24年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建設環境	//	//			
議第79号	平成24年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	"	//			
議第80号	平成24年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	//	//			
議第81号	平成23年度宇佐市水道事業会計決算の認定について	建設環境	//	原案認定			
議第82号	宇佐市若者定住促進住宅条例の制定について	建設環境	//	原案可決			
議第83号	宇佐市景観条例の制定について	建設環境	//	//			
議第84号	宇佐市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の全部改正について	文教福祉	//	//			
議第85号	宇佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関 する条例の一部改正について	総務	//	//			
議第86号	宇佐市税条例の一部改正について	総務	//	//			
議第87号	宇佐市暴力団排除条例の一部改正について	総務	//	//			
議第88号	宇佐市道路占用料徴収条例の一部改正について	建設環境	//	//			
議第89号	宇佐市災害対策本部条例の一部改正について	総務	//	//			
議第90号	宇佐市火災予防条例の一部改正について	総務	//	//			
議第91号	工事請負契約の締結について	文教福祉	//	//			
議第92号	平成23年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	//	継続審査			
議第93号	平成23年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認 定について	文教福祉	//	"			
議第94号	平成23年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	//	//			
議第95号	平成23年度宇佐市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 の認定について	建設環境	//	//			
議第96号	平成23年度宇佐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認 定について	建設環境	//	"			
議第97号	平成23年度宇佐市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の 認定について	建設環境	//	//			

番号	件名	付託委員会	議決月日	結 果		
議第98号	平成23年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳 入歳出決算の認定について	建設環境	9月24日	継続審査		
議第99号	平成23年度宇佐市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算 の認定について	文教福祉	//	//		
議第100号	平成23年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の 認定について	文教福祉	//	//		
議第101号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	省略	//	原案同意		

○意見書案

番号	件名	付託委員会	議決月日	結 果
意見書案第4号	国へ原発依存から自然エネルギーの転換を求める意見書	省 略	9月24日	原案可決
意見書案第5号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」 の構築を求める意見書	"	//	"
意見書案第6号	伊方原発の再稼働に反対する意見書	//	//	"
意見書案第7号	東九州自動車道北九州〜大分〜宮崎間の平成26年度までの 全線開通を求める意見書	"	//	"

○請 願

番号	件名	紹介議員	付託委員会	結 果	
請願第6号	市道(旧国道)(法鏡寺~四日市線、 閣地区、東用水路から西用水路まで) の側溝改修工事に関する請願書	宇佐市大字閣 7 0 閣自治委員 小松 和孝ほか 9 名	広崎 河野 東臣 永松 郁 徳田 哲	建設環境	採択
請願 第7号	オスプレイの配備及び低空飛行訓練 に反対し国へその撤回を求める意見 書に関する請願書	宇佐市大字城井 1029-1 新日本婦人の会 宇佐支部代表 上田 みどり	用松 律夫 今石 靖代	総務	継続審査

○閉会中継続審査の請願審議結果

番号	件名	付託委員会	結 果	付託定例会
請願第5号	消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願書	総 務	不採択	6月定例会

[※]継続審査=決算特別委員会・付託常任委員会にて再審査を行う。

賛否の分かれた議案の採決結果

議案番号	議 員 名 案件・結果	藤	野	崎譲	藤義	河野康臣	本 裕	島光	石 靖	島孝	下 一	来栄	開		松 律	隈 尚	衛藤正明	丸 龍	田則		松	藤文	永 義	良公	保 繁		衛藤博幸
72	平成24年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	\triangle	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	議長につき
84	宇佐市ひとり親家庭等医療 費の助成に関する条例の全 部改正について	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	つき表決なし

必要に応じて集落間の調整を行う。 区から再編の要望があった場合には、

風通しの良い職場作りに取り組む。

のは適切ではないと考えるが、

自治

地区の再編を市が主体的に行う

てきているが。

な地区は自力での維持が難しくなっ

問2

地区の再編成について、

9億5千万円を見込んでいる。

施路線として公表された。事業期

おいて必要性が認められ、

事業実

間は概ね5ヵ年、概算事業費は約

市 分する質問の一般に

いました。たって、16名の議員が質問を行たって、16名の議員が質問を行



都市計画道路の柳ヶ浦― 麻生地区の上水道について 上拝田線と 宮丸龍美 (日新会)

問3 現況を伺う。 麻生地区の上水道について、

も来年度に完了する予定。 まもなく工事に着手し、管路網整備 現在、浄水場の建設業者が決まり、 答 今年度からの3ヵ年の予定で、

に実施設計を行い、 に着手する予定。 上麻生地区については、今年度中 来年度から工事



問①

都市計画道路の柳ヶ浦

上拝

田線について、現況を伺う。

先般、県の事業評価検討部会に

河野康臣 (市民クラブ)

いじめのない宇佐の教育を

問 早期発見・早期治療が肝要で 病休教職員根絶の取り組みは。 宇佐市の教育問題について。

(2)いじめの原因は何か。

問4

フラワーロードの活用は。

情操教育への活用は。

さない姿勢が大切である。 考えられる。教師自らがいじめを許 子どもの不満やストレスなども

6月議会以降の経過は。 問②高家産廃処理場建設問題は。

ないようにとの要請をした。 出向き、現状のままでは許可を出さ 市長が6月議会後の7月に県に

問 5

公衆トイレについて。

公衆トイレの現状は。

フラワーロード事業を発展させる。

花作り日本一の宇佐市を。 学校長の責任の下で行う。

水やり、

除草等課題も大きいが

問3 災害時の孤立化対策は。 総合防災計画について。

ナンスは外部委託している。

障がい者用トイレのバリアーフ

市内に41ヶ所ある。メンテ

情報収集に努め、早めの避難をお願 いしている。 自治会や自主防災組織、 消防団

リー化は。

今後とも進めていく。

市防災無線塔の地区での共用は

共用は可能である。 スピーカーの重量制限が許せば

電光掲示板設置による防災は。

今のところ、考えていない。



フラワーロード

スポーツ推進計画について

介護保険事業及び

河野睦夫(両院クラブ)

間 調査員の配置状況及び調査件数は。 要介護認定調査状況について、 介護保険事業について。

平成24年度7月末の調査件数は、委 現在、 認定調査員は、 11名で、

(2) 託調査5件を含み1, 530件であ

介護給付費の適正化の取り組み

を行っている。 指導、介護給付費適正化システムの 導入による介護報酬請求のチェック 明会やサービス提供事業所への実地 いる事業所の管理者を対象とした説 市内で介護サービスを提供して

題は。 (3) 今後、特に重点的に取りくむ課

策の継続的な取り組みの3点である。 チェックなど介護給付費の適正化対 える。③適正な介護サービス提供 に係る実地指導や介護報酬請求の 着させる。

②介護サービス環境を整 ①介護予防教室を市内全域に定 スポーツ振興について。

スポーツ推進計画策定への取り

いて、 問

る。 施し、 7月に競技団体へのヒアリングを実 5月に競技団体へのアンケート調査 ツに関する市民意識調査」を実施、 本年3月に、無作為に抽出した 000名を対象とした「スポー 現在、課題の整理を行ってい

は。

があげられているのか。 (2)現段階においてどのような課題

に関する課題②活動に関する課題③ 大きく4つの課題があり、

> 仕組みに関する課題 ④施設に関する 課題である。



(両院クラブ)

旧事業債が適用されるので小災害債 40万円未満13万円以上の小災害につ を活用して災害工事を実施すべきで いては激甚法適用時のみに小災害復 れ40万円以上の工事が対象となる。 今後の対応について 7月豪雨の災害復旧と 7月豪雨の災害復旧対策につ 県下全て激甚災害に指定さ 佐田則昭

問④ 工事中断している福貴野枝郷

線の工事の見通しは。

指摘された内容を十分検討して

県との対応は。 今後も人家への被害が心配されるが シの枝が折れ、人家も被害を受けた。 問② 県指定の天然記念物イチイガ

補助事業で早急に事業着手したい。 県文化課との協議で県、 市費の



天然記念物イチイガシ(安心院町山蔵)

問3 止対策事業実施を要望している。 壊した農家の今後の裏面工事対応は 市として県土木に早期に崩壊防 土砂災害で人災、家屋一部倒

成予定であるので、その間調査検討 したい。 松本線、中恵良線共に27年度完

問⑤ 平成の森から宇佐地区森林組 ている。 合の間の新規道路を検討しているか 山間総合計画の中に組入れを検討し 県と協議をして25年度第3期中

問⑥ 津房小学校を守るための対策 をかけて行きたいと考えている。 促進し、地域の児童数減少に歯止め 児童数の確保のために若者定住促進 住宅の建設を。 子育て中の若年世代等の定住を ふるさとへのUターン定住の促

が発注する事業を優先的に発注を。

地元業者に発注する。 地元業者育成を目的に可能な限



哲(愁山会) 徳田

教育について

問① 位である。 トップクラス、中学では上位から中 は都道府県段階の調査結果で留めら 等が生じるおそれ等から、公表内容 れている。概ね小学5年生は県で 市はどこら辺りに位置しているのか。 ・学習状況調査で2012年の宇佐 個人情報、序列化や過度な競争 学力向上について、全国学力

問②いじめの実態は。

消にむけて取り組んでいる。 ある。学校・家庭と連携しながら解 小学校・中学校で24年度25件と

道徳の定義は。

道徳教育とは、道徳的な心情・

地元業者の指導育成のため市

問④ 道徳教育に変化はあったか。 判断力・実践意欲と態度などの道徳 今後も児童・生徒の変容に期待して す子どもの姿が明確に成っており、 実践力を育成するものとしている。 ての生き方についての自覚を深め、 性を養うことを目標とし、 各校が道徳教育において、 人間とし 目指



井本裕明 (照政会)

宇佐神宮の周辺の整備と 観光振興について

問2

今後宇佐市が景観事業を推進してい 策定を進める中、宇佐神宮の周辺は る。現在、市では新たな取り組みと 重要な地域として位置付けられてい 残る市の観光交流拠点として、 宇佐神宮周辺は歴史的街なみが 景観形成重点地区として宇佐 景観条例の制定と景観計画の 宇佐神宮周辺の整備について。

> 平成27年10月の勅使祭が予定されて 推進協議会」の機運も高まっている。 る。 ていきたい。 神宮にふさわしい歴史と文化の香り 境整備に着手出来るよう作業を進め 取りまとめ、来年度から、街なみ環 いる。協議会と十分話し合いのうえ 高い街なみの整備が必要と考えてい 「宇佐神宮周辺景観まちづくり



グラウンドの人工芝化について 是永市長の二期目に向けて

宇佐神宮呉橋

ち時間の長いところの課題を解消 の交通手段の確保・整備について。 している。また、電車とバスの乗り 毎年JR九州に対して要望書を提出 系の維持・確保に努めている。 して位置づけ、利便性の高い交通体 拠点と認識しており、観光拠点駅と 宇佐駅については、本市の交通 全ての特急列車の停止に向けて 観光交流拠点へ誘客するため 待

また、国道10号の右折レーン設置に 利便性の向上を図るように要望する 於いて、 継ぎについては、 から聞いている。 おり、平成26年度完成と国土交通省 ついては、現在測量調査を実施して 住民ニーズを把握した上で 関係団体の会議に



辛島光司(照政会)

問2 問 さんからのご意見等を幅広くお聞き これらの諸課題の対応に全力を傾注 となった。二期目に向けての市長自 年が過ぎ、残りの任期が半年あまり ついて、地元の皆さんの熱意もあり する中で考えていきたい。 しているところ。今後、市民のみな 身の考えをお聞かせ願いたい。 全国規模の行事が控えており、 四日市街なみ環境整備事業に 是永市政となり、早3年と半

たが、中身について伺う。 第3期計画が着手されることになっ

主なところ。 整備美装化や街なみ散策の案内板が 本町通りや東別院参道等の道路 2ヵ年で事業費1億5千7百万

思うが、競技人口が大幅に増加し、 問③ スポーツ推進計画が今年度中 ているが、現段階での認識は。 グラウンドが必要だと以前から訴え るサッカー競技について、人工芝の の策定に向け、大詰めのところだと 国内外問わず非常に盛り上がってい 必要性を認識している。スポ

問4 芝化について検討する。 ツ推進計画の中でグラウンドの人工 あるアンケート結果は、どのように 総合運動場交流広場の遊具設 市民の声でもあり願いでも



総合運動場交流広場

反映されるのか。

提案を募集した。また、 していただき、評価点に反映した。 の利用者に企画提案書を提示し投票 答 アンケート結果を基にした企画 総合運動場



中島孝行 (新流会)

中学校の武道教育と

宇佐市の水源について

問(1) ていたが当市の状況はどうか。 育について。 必修化に伴い指導者が懸念され 必修化された中学校の武道教

校で、安全に指導が行われている。 て取組んでいる。7校すべての中学 各中学の武道の選択基準は。 「相撲」を武道の必修科目とし

は市費負担その他については検討中。 充は中学校体育部会と協議を行う。 剣道においては、竹刀・防具等 必修化による費用負担は。 現在相撲のみであり、種目の拡

> いて、 世に伝えることは当市の義務と思う 貴重な航空隊資料と遺構を後 宇佐航空隊の遺構と資料につ

に向けた課題の整理に着手した。 整会議」を設置、ミュージアム建設 隊平和ミュージアム建設構想庁内調 平成24年4月に「宇佐海軍航空



宇佐海軍航空隊滑走路跡

問3 ある。宇佐市の現況は。 進み水源涵養林が危機に瀕し地下水 水源の枯渇が懸念される状況に 地方自治体では、森林の荒廃が 宇佐市の水源について。

都市計画税の格差是正を

民主的な管理・運営を 社会教育集会所の

(2)べきでは。 源を守るために条例の制定も考慮す 整備を実施している。 実施。水源涵養保安林についても、 毎年間伐など、森林整備事業を 水資源は貴重な資源と捉え、 箵

> 品化された6次産業商品への関心度 会を通じて、水源の保全を要望する が低いように感じるが如何か。 問④ 6次産業創造ビジョンについ には敬意を表すが、当市の市民に商 て、 農・商・工の連携での商品開発

活動強化に努める。 駅等に商品を配置し、周知に努めて いるが、今後も関心度を高めるPR 市内の公共施設・JR駅・道の



広崎譲二(未来の風)

問① 学校統廃合も考えざる得ない状況に 育活動に大きく支障が出る場合は、 基本的な考え方をお伺いしたい。 今後更なる統廃合が行なわれるのか 児童数が今後さらに減少し、教 小・中学校の統廃合について

の資格がある方に対して、4月の更

国保税の滞納者で「短期証」

問2

市町村の枠を超えて存在する。市長

水資源は地域共有の財産であり

地域に行き渡るのは、 受けることを目標にしているが、 力している。平成27年度に、認可を ケ浦・長洲・宇佐地区に関して、 ている地域、宇佐・長洲・柳ケ浦) 途地区内において、インフラ整備率 に若干の格差が生じている。 特に公共下水道については、 都市計画税を賦課している用 30年後である。 全 努 柳



今石靖代(日本共産党)

問(1) 管理・運営状況、委託料はどうか。 今まで問題ないと認識してきた 管理費の状況も含め、改めて調 市内21ヵ所の社会教育集会所の 今後チェックを行いたい。 公共施設の管理・運営につい

きでないか。 来庁しやすいように文章を改めるべ 付を促すため来庁を通知しているが、 険証を届けていない実態がある。 新時に、1000人を超える方に保

の方にも保険証は渡すのか。 問③ どうしても入金できない場合 ていないので改善する。 保険証をお渡しすることを書い

年々増え、クラスの16~17%にも もらい保険証をお渡しする。 が、できない場合は納付相談をして できるだけ入金してもらいたい 就学援助を受ける子どもが

問 5 ラブ活動費はいつから実施するのか。 なっている。国が対象にしているク 他市の状況をみて決めたい。 原発事故による放射能からの

するべきでないか。 移住者が増えている。積極的に支援 総務課で担当し、県と連携して



問 いきたい。 立て替え払いをなくすべきでないか。 庭や子どもの医療費と同じように、 い者の医療費について、ひとり親家 実施できるように県と協議して 手続きがより困難な重度障が

> (2) いる。

おいて100%の進路実績となって 公立大・私立大・専修学校や就職に

(2)

環境整備で15分カットするのは

無理では。

中庭にウッドデッキを。

現在の所改築は考えていない。

現在の昼休60分から45分で行う。



(日新会)

加来栄

小中学校の教育について インターネットと

問① て。 インターネットひろめ隊はどこ インターネットの普及につい

までの活動をめざすのか。

導は誰が行うのか。 さを体感し興味を持たせる様にする。 北部小と院内中のパソコンの指 高齢者や初心者に便利さや楽し

(1) 入業者により操作研修をしている。 指導は教員で教員への指導は導 小・中・高一貫教育の成果は。 安心院高校の進路決定状況は国 小・中学校の教育について。

名、

問④妙見荘について。 確保していて基準は満たしている。 介護保険法における人員基準は 臨時やパートを増すべきでは。



宇佐市立特別養護老人ホ

(2)

今後どのように活かしていくか。 整備事業を利用して、整備して

12名である。 問③ 育休について。 をもっと取り入れるべきでは。 職員の育休はどの位あるか。 判断力・表現力の育成を図っていく。 しているのでは。 9月1日現在で育休取得職員は 宇佐市から中津市への進学が増 NIE(新聞を活用した授業) 平成24年で72名となっている。 平成22年で79名、平成23年で76 新聞を有効に取り入れ思考力



衛藤義弘 (公明党)

市民の 生命・財産を守るために

間 緊急総点検の結果は。 通学路の安全対策について。

である。 要望が9件、 カーブミラーやガードレールの設置 査した。市道18件の内、歩道の設置 グリーンベルト化の要望9件、 危険箇所56箇所を合同点検・調 注意看板の設置が4件

ر د ۲ 的に行う体制を加えるべきでは。 (3)条例の中に緊急安全点検を恒常

10

他市の条例を研究していく。

は 今後発生する災害について市の対策 (1)宇佐市でも豪雨災害が発生した。 防災・減災の強化について。

など自主防災組織の活性化を図って 材整備②地域防災活動③防災士養成 防災力強化のため、 ①防災資機

(2) おさえられるのでは。 及ぼす、砂防ダムがあれば最小限に の雨が滝のように流れ出し、 山間部は傾斜地のため、 被害を 山から

県へ要望していく。 市と県とで調査しているので、

今後どのように普及を進めていくの ついて、現在の市と県内の普及率は。 問③ ジェネリック医薬品の普及に

体では27%。普及は重点施策で、 などを通じて市民の利用促進を図り 内全域に配置した健康推進員の研修 今年4月時点で市内28%、 県全 市





大隈尚人(市民クラブ)

ている。

災害対策について

問① いるが、市としての考えは。 地に対して企業の参入に力を入れて 初期の参入相談時から、県を中 県は、後継者不足や耕作放棄

問2 市の対策をどう考えているのか。 院は、危険箇所が多く心配である。 参入をできる限り支援したい。 し課題を解決しながら、企業の農業 心とする関係機関、関係各課が連携 近年、ゲリラ豪雨が多い。 両

の未然防止や拡大防止に努めていき 共有や関係機関との連携による被害 事業導入の検討を行うなど、情報の 危険度の高い箇所については、

雨の対策はできているのか。 と言っているが、このような集中豪 豪雨があった。市は常に安全・安心 月に竹田・日田・中津で集中

用松律夫(日本共産党)

問6

メガソーラーなど自然エネル

オスプレイの配備反対を表明

問① 演習参加に反対を。 オスプレイの配備と日出生台

新設するなど、地域のコミュニティ 動の経費に補助金を交付する制度を 的とし、自主防災組織が行う防災活 ーを活かした避難活動の推進に努め 地域における防災力の向上を目 設を。 問2 同じだ。 生台演習の参加ということがあれば 住宅リフォーム助成制度の

創

問3 創設を求める請願採択を重く受けと の予算を組んでいる。 経済効果については十分認める。 目的別に耐震化など2700万 低地など災害危険地区に緊急

問④ 岳切渓谷・道の駅に訪れる人

検討していきたい。 に個別受信装置の設置を。 防災無線のデジタル化と併せて

するのみならず、安全な通行の妨げ

路線内の支障木は、景観を阻害

、なるので管理者である宇佐土木事

要望すべきではないか。

景観が良くないとの声がある。県に から、国道三八七号線に木が生茂り

務所に調査と対応を要望する。

改修する。 樹木や堆積した土砂等の除去を。 間④ 水害対策としても河川の中の 該当する箇所があれば速やかに

きるか。 ければならないという認識は共有で の病理現象があり、これを是正しな 問⑤ いじめの背景にゆがんだ社会

つかみ削減を図りたい。 教員の多忙化については実態を

今後も太陽光発電など自然エネ への転換推進を。

ルギーへの転換を進める。 備期間の早期改善を。 四日市旧国道の本舗装の未整

生まで通院費も無料に。 第3期計画の中で改修を行う。 県下4市町村等のように中学

独自助成は困難

しており、同様の考えだ。万一日出

県市長会で中止を求める決議を

問9 通り無料に。 ひとり親家庭の医療費は従来

(1)

宇佐神宮の参拝者数の推移、

一部自己負担はやむを得ない。



後藤竜也(忠政会)

問(4)

市内企業の商品を地元で消費す

災害復旧について

地元企業との関わりについて

観光・地域振興、 保育に関して

問① いじめ問題に関して宇佐市の現状 学校教育に関して

ものはない。家庭と連携しながら、 が報告されているが、特段、 解消に向けて取り組んでいく。 答 冷やかしやからかい、無視など を問う。また、今後の課題は。 深刻な

夜間保育の設置を検討すべきで

保育に関して。

需要があれば検討する。

用頂きたい。補助拡充は検討する。 うさっ子サポートセンターを活 休日保育を拡充すべきでは。 観光振興に関して。

> 宮へのアクセスを改善すべきだが。 び増加に向けての具体的取り組みは。 拡充に努める。 にいくよう、車道や案内板の整備 や東京での宇佐市PRに努める。 宇佐ICからの誘導がスムーズ 東九州道開通に向けて、宇佐神 参拝者数は横ばいである。 福岡

る。 るべきだが。 議員が率先して市民意識の向上を図 るという意識は重要である。市職員 同じ認識である。率先して努め

企業本社へ訪問するなど関係を大切 業と良好な関係は保たれているか。 (2) 題である。市内に事業所を構える企 市長自ら出張等を利用し、進出 不況の中、企業撤退は深刻な問



衛藤正明(両院クラブ)

問① のように取り扱われたのか。 40万円以下の災害復旧は、

問② 災害復旧からもれている40万 囲内で資材費等を支給している。 場合には地元と協議の上、予算の範 設については、受益者が自ら行った 負担することにより、市単独災害と 係る災害復旧は、災害復旧事業費に して実施することが可能である。施 100分の35を乗じた額を受益者が 20万円以上40万円未満の農地に

問④ 「木材を多く使用できない特 学校関係に47. 問③ 地元産材利用状況について。 地課に相談していただきたい。 あてはまる災害があれば早い内に耕 市単独災害復旧事業について、 院内支所改築工事に2.8㎡ 6㎡利用している。

別な理由」について。

の利用促進に努めていく。 る要因であるが、可能な限り地域 造とすることができないことが主た 防災上の観点から主体構造を木

をどのようにとらえているのか。 問⑤ 市産材の素材及び製品の評

は県の平均を上回っている。 材で県の平均とほぼ同額。ヒノキ材 る。23年度の中津木材市況は、 価を今後期待できるものと考えてい 市内にでき、品質の安定と市場の評 大分方式乾燥材としての認証工場も 高品質な乾燥材の生産が可能 スギ

到達時間は、3時間4分である。 最大津波高4m 地震が発生した場合の予測状況は。 問⑥「南海トラフ」沿いで、巨大 字佐市において最大震度6弱、 。 津**渡**1 m の濃



円以下の今後の取り扱いは。

改築中の院内支所

きたいと切に願うばかりです り前でした。駅館川にも思い出がいっぱい ずにいた昭和一桁生れに近い人達)、その ば殆ど汽車(電車という言葉に仲々馴染め 呼び汽車と呼び遠くへ行く交通機関といえ まった。風光明媚な宇佐の地に生を受けて 供達の大きな声に包まれた一日が今日も始 総出で応援出来るプロジェクトを作って頂 たかが中心となり音頭をとって宇佐市民が かりとか。宇佐市が益々発展するにはどな います。何か手を打たねば参拝客は減るば という間に四日市、宇佐も通り過ぎてしま 今は生活様式も変わり高速道路が通りアッ はお取越しと必ず参拝(遊び)に行きました。 です。プール等無い時代、夏の遊びと云え 走り込んだものです。昔はこの様な姿が当 て途中のお宮様にペコリと頭を下げ校庭に んだと思います。登校するのも下駄を履い をとる。只父の姿を真似していただけなの 御許山に向って太陽が登ると一礼して朝食 豊かにしてくれます。子供の頃父と並んで まもなく黄金の稲穂が首を垂れ私達の心を 車窓から眺める景色は雄大そのものでした。 つものJRの駅を持つ広大さ。昔は国鉄と を噛み締めています。一つの平野の中に五 七○余年。年を重ねるに連れこの地の良さ に子供心に朝の清々しさを感じ取っていた 「おはよう」「おはようございます」子 伝統の行事も夏は宇佐の御神事、 子供が四・五人集れば駅館川で泳ぎ

渡辺 一恵

(◎は委員長: 新開洋一

○は副委員長

衛藤博幸 後藤竜也 浜永義機

請 願第6号の 現 地 調 查

常任委員会視察研修報告

鏡寺~四日市線、閤地区、東用水路 ました。 に関する請願書_ から西用水路まで)の側溝改修工事 の説明を受け、「市道(旧国道) 願者である閣自治委員の小松和孝氏 土木課・生活排水課立会いのもと請 9月14日に建設環境常任委員会が の現地調査を行



現地調査のようす (閤地区の中心部)

総務常任委員会

く言ったもので、お彼岸を過ぎた

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよ

編集後記

域担当制度、自治基本条例の策定状況等に まちづくりについて、新城市では市職員地 ついて研修を行いました。 に愛知県新城市を訪問し、半田市では防災 去る10月2日に愛知県半田市・10月3日



半田市研修の様子

産業経済常任委員会

西から東へと伝承したことは明ら 日本の文化は大陸に近いことから、

市では民俗芸能伝承館の施設概要と管理運 と農からのまちづくり事業について、秋田 を訪問し、山形市では耕作放棄地対策につ 営について研修を行いました。 いて、横手市ではB級グルメ振興施策、食 に秋田県横手市・10月4日に秋田県秋田市 去る10月2日に山形県山形市・10月3日

決算特別委員会(14名

◎今石靖代

○広崎譲二

中島孝行

大隈尚人 斉藤文博 河野睦夫

衛藤義弘

久保繁樹 用松律夫



山形市耕作放棄地での コケ栽培を視察

豊前・豊後の二国となっています。 名が国名として残っているのは、 牛馬の食欲も増して、これから収 秋」などは、気候も涼しくなり、 之瑞穂之国とされるのに、 を感じます。 穣の恵みに感謝する先人の生命力 穫の秋本番を迎える喜びと五穀豊 んありますが、「天高く馬肥ゆる した。秋を表現する言葉はたくさ あたりから、かなり涼しくなりま 日本国の古名は豊葦原千五百秋 この古

されたものと考えられます。 可能で、一番古い日本文化が形成 風などの風水害にさらされなかっ かです。 た豊の国は、田畑・家屋の維持 また、昔からそれほど大きな台

瑞穂の国の財産を未来永劫に引き なって、豊かな土地と文化を持つ ます。未来を生きる子どもたちの 継がなければなりません。共に手 ために市民・行政・議会が一体と のものが危機に瀕しようとしてい 温暖化や原発事故で人類の生存そ 地震・津波・豪雨の天災に加え、

河野康臣